

梅雨前線台風 2 号による豪雨被害を視察 床上浸水の住宅に支援金創設を求め

6月4日、豪雨により災害救助法適用を受けた越谷市・草加市を視察しました。引っ越した途端に床上浸水となり、新築の家と自動車が水に沈んだというお話しや、フォークリフトが沈んでしまったという事業者のお話しなど伺いました。これらの声をまとめ、6月9日には埼玉県副知事に、災害対策を求める申し入れを行いました。

所沢市急傾斜地「あかぼっけ」にセンサー設置を

申し入れ内容は、県と市町村の支援制度に床上浸水への支援を創設する、排水機場の整備などです。所沢市の「あかぼっけ」にセンサー設置も求めました。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年6月13日 NO. 3

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048



医療的ケアを必要とする障害者の保護者と懇談 「おとなになっても支援して」

人工呼吸器や胃ろうなど、医療的なケアが必要な障害児等の相談にのる地域医ケア児支援センター3カ所が開設されます。このことについて、障害児者の保護者のご意見を伺いました。「センターはもっとたくさんほしい」「子どもが18歳になって学校を卒業したら途端に支援が手薄になった。大人になっても支援してほしい」などの意見をいただきました。



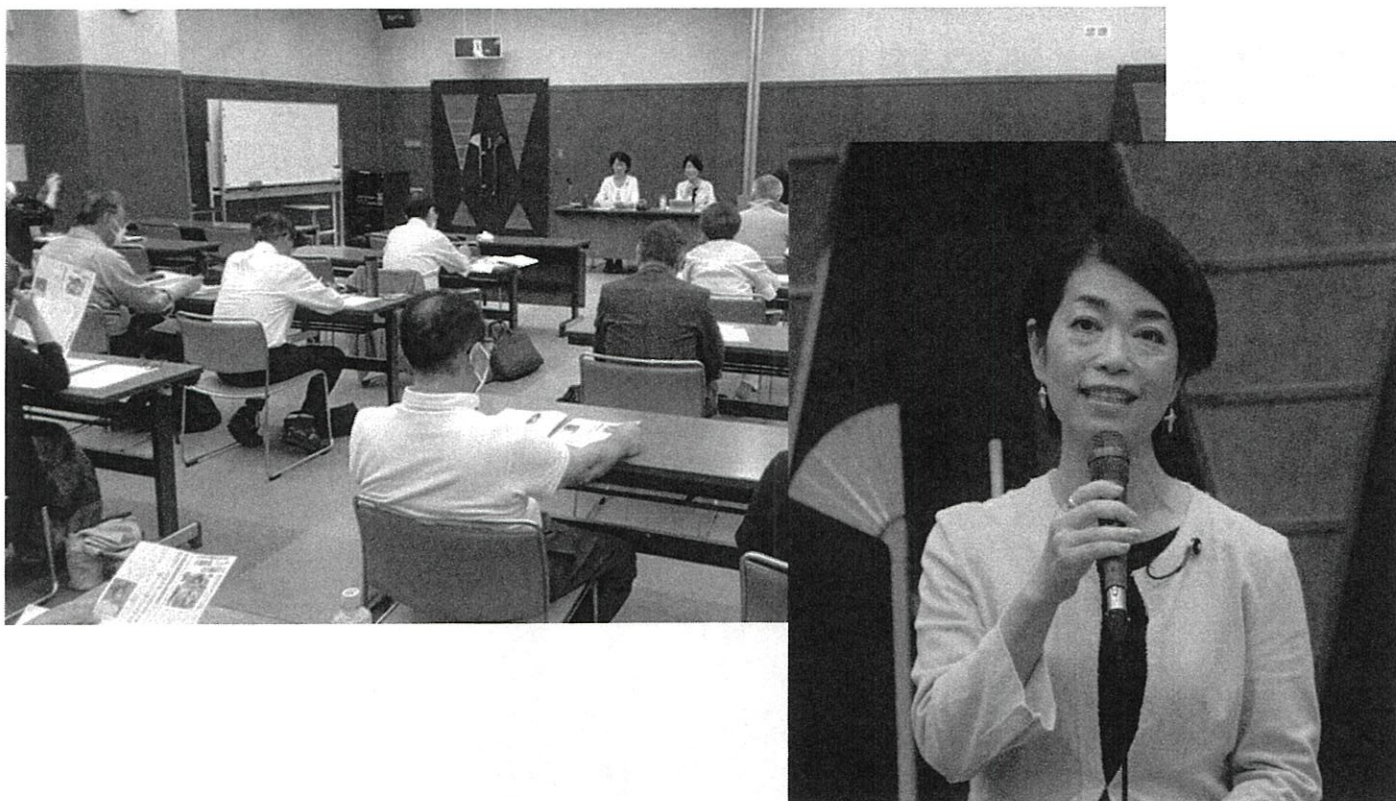
原発事故汚染土の再利用実証事業のヒアリング

6月5日塩川鉄也衆議院議員、矢作いづみ市議、地元市民とともに環境省ヒアリングを行いました。放射性物質の再利用基準では原発廃炉は1kg当たり100ベクレル。汚染土は8000ベクレル同じ国で2つの基準が✪

「公共事業で適正に管理する」と言いますが誰がいつまで管理するのでしょうか！しかも、国際原子力機関(IAEA)にも要請しこの事業への評価、助言を求めているが、IAEAも住民の理解が必要としているとのこと。原発汚染土の再利用事業は世界でも例がありません。政府が進める原発帰還とリンクした実証事業は認められません！

6月定例会は6月19日開会7月7日までです。

党県議団の伊藤はつみさんが一般質問を行います。



国保税が高すぎる！払える国保税へ。 県の国民健康保険運営方針を学びました。

国保税が高すぎます。所沢市では所得202万円の4人（子ども二人）世帯で年約37万円に上ります。6月13日、党県議団主催で市町村議員対象の国保学習会を開きました。県国保医療課長から現在策定中の「県国保運営方針」の説明を受け、質疑のあと、市町村・団体の取り組みを交流しました。私は、後期高齢者広域連合議会の状況について報告しました。

法定外繰り入れ解消は国保税引き上げにつながる

運営方針は、令和9年までの県内の保険税水準の準統一のために、令和8年度までの、市町村の一般会計から国保会計への法定外繰り入れをすべてなくすといひます。これでは、さらなる保険税の引き上げをまねきます。学習会では「準統一を急ぐな」「減免制度の拡充を」という声が相次ぎました。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年6月13日 NO. 4
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1
048-824-3413 FAX 048-825-1048

議会改革のための協議会設置を議長に申し入れ ～委員会のインターネット公開を

6月12日、党県議団は立石泰広埼玉県議会議長に「県議会の民主的運営及び議会経費の適正化等に関する申し入れ」を行いました。伊藤はつみ県議は「議会改革のためにぜひ、協議の場をしてほしい」「委員会のネット中継も実現してほしい」「少数会派の議運オブザーバー出席をみとめてほしい」など、要望の中身を説明し、立石議長は、「どんな改革が必要か、各会派から意見をききたい。」と語りました。



物価高騰対策としてプロパンガス利用者に2500円

5月23日の警察危機管理防災委員会で、補正予算審議が行われました。プロパンガス利用者の世帯に、8月から9月頃に1世帯2500円の定額補助が行われます。(申請の必要はありません) 審議に参加した伊藤はつみ県議は、1世帯2500円にとどまらず、さらなる拡充を求めました。

各地で臨時会などの報告をしています。



新所沢西口で小林澄子市議と議会報告と署名に取り組みました。所沢保健所の復活、子育て支援「3つのゼロ」物価高騰への支援など、公約実現に取り組みます。

所沢北部後援会あけぼの総会
に矢作いづみ市議と参加。



東所沢柳瀬支部後援会のみなさんとの交流会に加藤けんいちさんと参加しました。





傍聴者の見守る中、本会議反対討論

「インボイスは
中止しかありません。」

1000万人と言われる、フリーランス・小規模事業主などに耐え難い負担増を強いる「適格請求書等保存方式」（インボイス）制度。6月定例会閉会日に自民党より、インボイス制度導入を円滑に進めるため配慮を国に求める意見書案が提出され、城下のり子県議が本会議で反対の討論を行いました。（共産・改革以外の反対で可決）討論後、傍聴に来た皆さまと懇談しました。傍聴ありがとうございます。



城下のり子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年7月7日 NO. 5

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048

「これ以上の国保税引き上げは許されない」

伊藤はつみ県議が、初の一般質問

初の一般質問では、給食の無償化や県立高校のタブレットの公費負担など物価高騰で苦しい子育て世帯への支援を要求。また、負担の限界となっている国民健康保険税の引き上げにつながる、市町村からの支援金全廃を撤回するよう要請しました。(右写真 大野知事と)



核兵器廃絶への思いを込めて

7月2日所沢入りした原水爆禁止 2023 国民平和大行進集会。なくそう核兵器！平和な未来を子どもたちへ！この想いを胸にスピーチさせていただきました。(写真右)

県庁内廊下で開かれている、埼玉県被爆者団体「シラサギ会」主催の原爆展に伺いました。被爆の悲惨な実相を伝える素晴らしい企画でした。(写真下)



埼玉県建設労働者共産党後援会総会に出席させていただきました。



松井まちづくり協議会定期総会に
来賓として、初めて出席させて頂き
ました。



こぶし東西支部のつどいで、県議会
報告をさせて頂きました。どんな困
難があっても声を上げ続ける！





医療の必要な障害児の入所施設を視察

8月8日、設立から5周年の重症障害児入所施設カリヨンの杜（さいたま市）を視察しました。医療の必要な障害児の長期入所をはじめショートステイ・デイサービス、リハビリなどを行う施設です。職員の確保に大変なご苦労をされています。県のさらなる支援が必要です。障害児が18才を超えると、補助の加算がなくなる市町村もあるとのこと。すべての市町村で補助を実施する必要があります。また、所沢にも、ぜひこのような入所施設が必要です。



子どもの虐待死を防ぐために一越谷児童相談所視察

8月8日、党春日部市議団と県越谷児童相談所を視察しました。虐待通告件数は1.4倍。一時保護所は常に定員超過状態です。一方で越谷児相の管轄人口は約73万人で、島根県・鳥取県に匹敵します。春日部市議団は「春日部市に児相を作ろう」と署名運動をしていますが、そのとおりです。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年8月16日 NO. 6

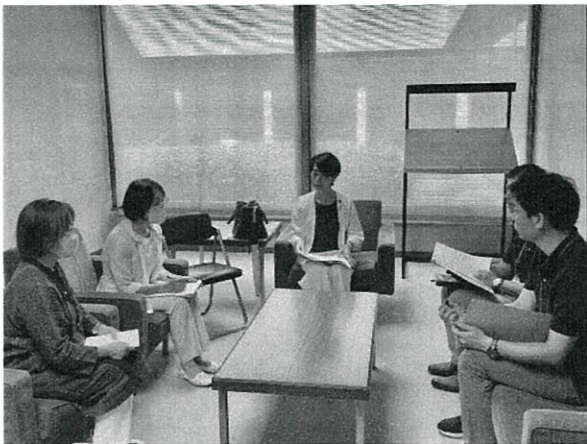
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048



広島原爆78周年—市民平和記念式にて

今年も8月6日、市民平和祈念式が所沢市役所庁舎の被爆敷石の前でおこなわれました。14年前、一人の市民からの提案が今日に至っています。核兵器禁止条約に尽力した被爆者のサーロー節子さんのメッセージ。「核兵器廃絶への運動はマラソン。疲れて動けなくなるまで走り続け、次の人に手渡す。若い人たちがその先頭に立って核兵器のない世界を実現していけるよう、私たちは全力で若い人たちを支え励ましていく」私も次の世代に手渡すために、声をあげる。核兵器廃絶は可能である事を！



保育体制の強化を！園バス降ろし忘れ事件

猛暑の中、所沢市内の保育施設通園バスで、また園児降ろし忘れ事件がおきてしまいました。幸い園児は無事で、よかった。この件で所沢市議団とともに、市保育幼稚園課から経過と市の対応について報告を受け、私からは県の対応について報告しました。子どもたちの命を守る対策と支援をさらに求めていきます。また、根本的には保育士不足解決が必要です。

同じ人間でありながら～外国人医療の関係者と懇談

7月26日、県内の外国人の人権について医療、教育関係者からお話を聞きました。同じ人間でありながら必要な医療などが提供されない現状、埼玉県支援制度の課題なども共有できました。

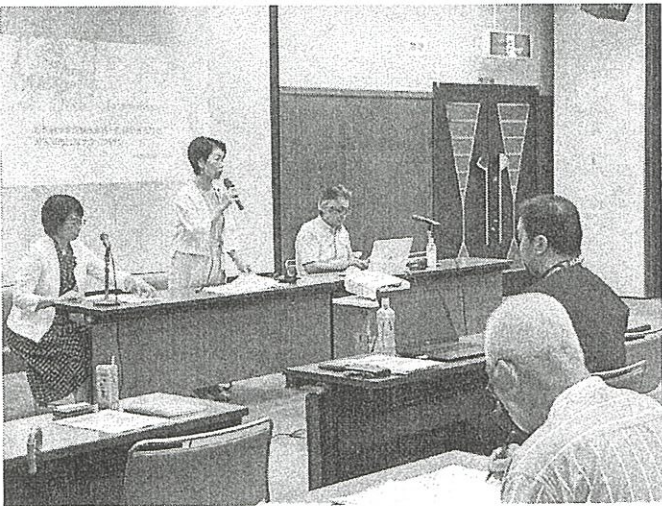
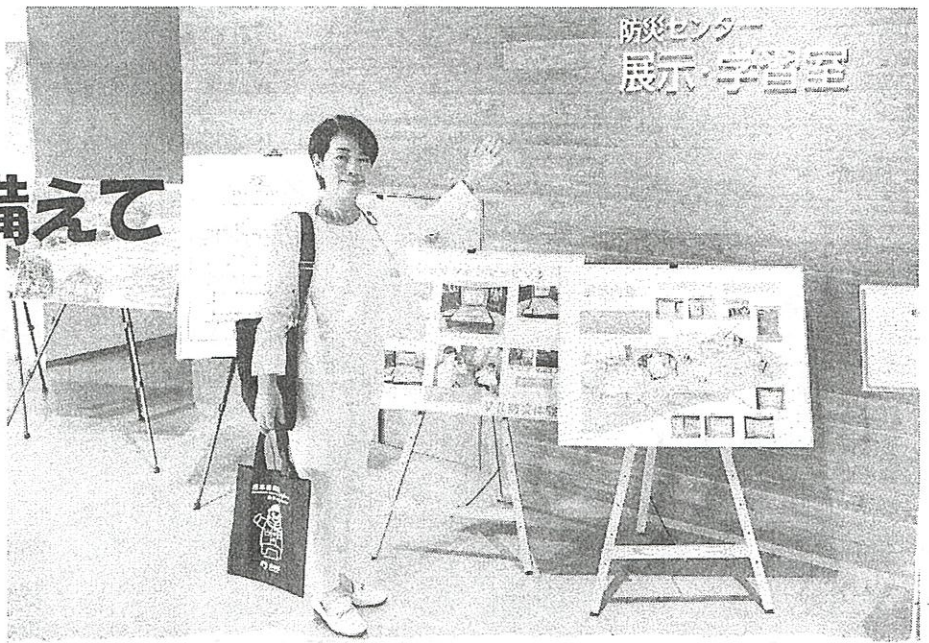


必ずやってくる

大規模災害に備えて

9月6日から7日の日程で熊本県総合防災航空センター、県防災センターを視察。熊本地震や豪雨災害など、大規模災害からの教訓をいかし県内、九州全域の災害支援に取り組んでいます。災害からいかに人命を守り救出するか！

埼玉県でも更に取り組む課題です。



県の国民健康保険引き上げ方針 は全国にも突出したもの

8月25日、県議団主催埼玉県社会保障推進協議会協賛「8月国保学習会」を開きました。講師は神奈川県自治労連の神田敏史さんです。42人もの団体や市町村議員みなさんが出席。改革の会の中川浩県議も駆けつけてくださいました。医療費適正化のため国の強いイニシアティブで進んでいる計画の先駆けとしている埼玉県の姿が告発されました。

学校給食費のために夕食を減らす母親がいる！

8月28日に松伏町の子育て支援の拡充を求める会のみなさんが、学校給食の無償化などを求める署名2250筆を提出にきました。私も同席。「給食費を払うために、夕食の量を減らすシングルマザーが現にいます」との訴えでした。



城下のい子の

県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年9月11日 NO. 7

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048



戦争を語る平和のつどい

三ヶ島地域で開催された「沖縄、再び戦場(いくさば)へ」
スピノフ作品上映会。

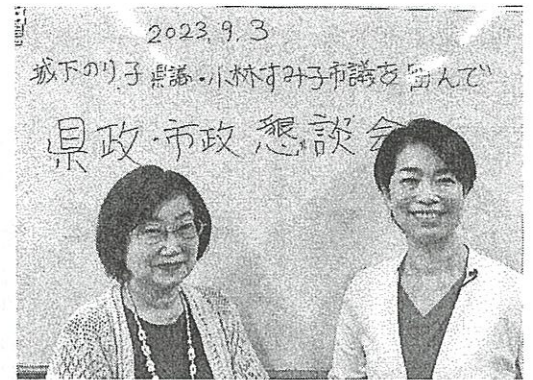
私は南西諸島の現状などを報告、花岡けんた市議からは原水
禁世界大会参加の報告をおこないました。

現状を知ることから始めよう！それぞれの居場所で戦争へ
の道は許さない取り組みを！参加者それぞれが思いを語り
ました。実行委員会のみなさん、ありがとうございました。

小手指地域の市政・県政懇談会

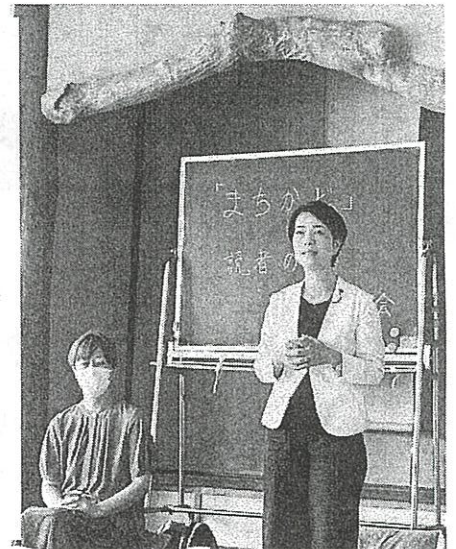
私からは県政について小林すみ子市議からは市政報告をおこ
ないました。(右写真)

参加者からは身近なスーパーの撤退や航空機騒音、保健所設置な
ど切実なご要望が出されました。市政・県政・国政と連携して安
心して暮らせる地域づくりに取り組みます。



北秋津(右写真)と 安松松郷和田後援会(左写 真)の議会報告会

私からは県政報告を中井めぐみ市議
は市政報告をおこないました。
地域要望も出され要求実現へ今後も
取り組んでまいります。



みなさまの思いが染み込んでいく

8/31山口地域を支部の方と一緒に私の NEWS レターをお届けしな
がら、ごあいさつまわり。

「暑いなかご苦労さまね」

「保健所のことを教えて」

「みんな希望を持ってないでいる。 生きることを支える社会にしてね」

お会いできた方々の思いが私の身体に染み込んでいく。また、明日も
歩きます。

9月定例会も始まりました！



秋🍁を感じる日🎵

今日は地域のみなさんと
テクテクごあいさつ。

彼岸花が至るところで
咲いています。

県議会も始まりました。

(9/22～10/13までの会期)

「大学生の息子に奨学金
という借金は背負わせたく
ない！」

「亡くなった父のメモが
出てきた。父は共産党
と出会って幸せだった
と書いていた」と、
訪問した先々で寄せられ
た声。

みなさんの声が私を
奮い立たせてくれる。

明日からもまた頑張れる



「農」と里山シンポジウムに出席

武蔵野の落ち葉堆肥農法🍂が世界農業遺産に登録されました。化学肥料に頼らない落ち葉堆肥農法が、江戸時代から360年の時を経て今も継承されている。基調講演をされた犬井正氏の「落ち葉堆肥農法は食と農と環境。次世代にプラスの遺産として継承を」このメッセージに強く共感！所沢で新規就農で頑張っている川瀬 悟氏(オーガニックファーム 所沢農人)もパネリストとして参加されていました🍌🍅🍆



城下のい子の

県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年10月2日 NO. 8

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048



県立児童養護施設「いわつき」 を視察しました。

9月21日「埼玉県立児童養護施設いわつき」と「いわつき乳児院」を県議団で視察しました。

いわつきは、県内3ヶ所目の児童養護施設として開所し41年目。県内すべての児童相談所から子どもを受け入れています。子どもたちに寄り添い、必要な支援を拡充しなくてはならない！

家庭的な生活環境を！児童養護 施設「あいのみ」視察

児童養護施設あいの実を9月25日に視察しました。戦後、日高市で小規模の養護施設を開設。乳児院も併設し、施設というより、家庭にいる様な環境づくりに配慮していました。所沢、川越圏内には乳児院が少ない事。職員確保に苦勞されているなど、現状をお聞きしました。



障害者の県立入所施設を視察

埼玉県障害者支援施設「嵐山郷」を県議団で視察(9/25AM)

強度行動障害者や重度心身障害者などための県内でも最大規模の入所施設です。県内では入所待機者は約1600人。施設の増設を求める声は広がっています。利用者に寄り添う支援にはやはり職員の体制強化が必要です。こちらでも職員の確保に苦勞されている状況でした。

障害者を「仲間」と呼ぶ 入所施設「太陽の里」を視察

9月21日の午後は障害者の入所施設、みぬま福祉会の「蓮田太陽の里」を視察しました。「人の発達を全体で共感する福祉を」と入所者の個性を尊重し、職員もともに豊かに暮らし働ける場と取り組んでいます。障害者支援制度の矛盾や課題も出され「人権が尊重される社会」にシなくては！と多くの事を学ばせて頂きました。



世論が追い詰め、自民党は条例案 を取り下げー9月定例会閉会



公園で遊ぶ子どもたちの無邪気な笑顔と声を奪わせない

私を含め、3会派の委員が反対しましたが、自民、公明委員の賛成多数で可決されました。

その後の県民の怒りの抗議行動が広がり、条例案取り下げに追い込みました。

さらに党県議団は議会運営委員会で、条例案取り下げの議決の際、今後、条例提案にあたっては県民の声に耳を傾け、超党派でプロジェクトチームを作るよう求めました。

県議会へと向かう途中で目にする、保育園へ自転車で送迎する親子の姿や公園で遊ぶ子どもたちの無邪気な笑顔と声、子どもや子育て家庭からあたりまえの日常を縛ってはいけない！

この必死の思いで委員会質疑や本会議に臨みました。

9月定例会が終わりました。

この9月定例会に自民党が『埼玉県虐待禁止条例「改正」案』を提案本会議での党県議の質問で「9歳以下の子どもだけ公園で遊ぶ」「9歳以下の子どもだけで集団下校」などの事例が禁止になることがわかりました。

内容は知れば知るほど、あたりまえの日常が縛られていく！

私も福祉保健医療委員会で、この「改正」案は、子育て中の親に精神的、経済的負担を求めるもので、逆に虐待を助長しかねないとして、「この『改正』案によって虐待減ると思うのか」と質問。答弁にたった自民党県議はまともに答えませんでした。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年10月18日 NO. 9

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048

Small Hall



全国精神保健福祉家族大会に参加しました

市民会館おおみやで開催された「みんなねっと 埼玉大会」第15回 全国精神保健福祉家族大会。来賓として、倉林明子参議院議員と参加しました。

家族まかせにしない社会に！
精神障害者と家族が当たり前
生きていける地域社会を！

関東大震災の朝鮮人大虐殺(約240人) 「県による調査と慰霊措置を要望書提出

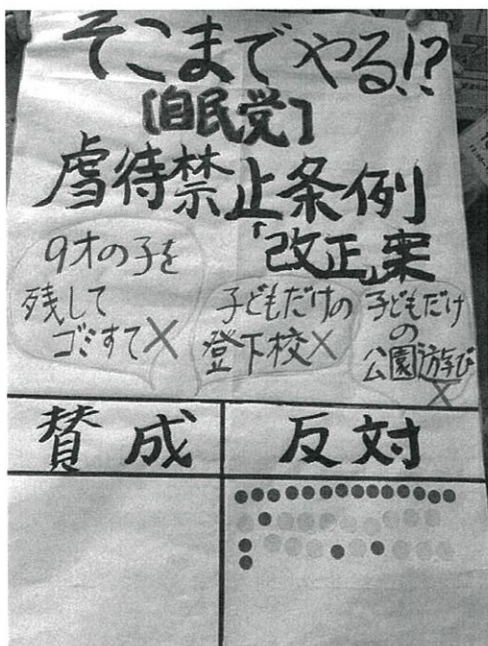
10月3日、党県議団は、大野元裕埼玉県知事あてに、関東大震災時の朝鮮人虐殺について、調査と慰霊措置を求め要望書を提出しました。

党県議団は、100年前の大震災時の朝鮮人虐殺は、県が発した移牒から端を発したものだとして、県の責任で調査と慰霊措置を求めています。



自民提出の虐待禁止条例「改正」案について宣伝

所沢駅東口で自民提案の虐待禁止条例改正案の撤回を求めるスピーチと緊急にシール投票に取り組みました。次から次へと条例反対Xにシールが!!「絶対に撤回してください」「ウェイブ署名しました」「自民党は何を考えているのか!」など、怒りの声が寄せられました



入間基地の騒音測定器を増やせ



10月16日、埼玉県平和委員会の方々が県庁を訪れ、要望を行い、私も同席しました。

米軍所沢通信基地内への横田基地から出土した土砂の堆積問題、横田・入間基地の航空機騒音など住民生活を脅かしています。

しかし県は「国に要望しています」と述べるだけで、国まちの姿勢です。「県として騒音測定器増やし、実態把握に努めること」「住民の命と健康をまもるといふ地方自治体の役割を發揮し、断固として国に求めてもらいたい」と求めました。

誰もが子育てしやすい埼玉へ

2024年度予算への要望

県民から寄せられた切実な声を311項目にまとめ、日本共産党埼玉県委員会と県議団連名で大野知事宛てに提出いたしました。

自民党の虐待禁止条例の問題で育て世代への支援があまりにも整備されていないことが浮彫になったことから、誰もが子育てしやすい埼玉の実現を求めることを大きく打ち出しました。

知事としてしっかりと受けとめて頂きたいものです。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2023年11月7日 NO. 10

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

048-824-3413 FAX 048-825-1048

自民提出の虐待禁止条例問題のシンポジウム

越谷市議会・議員有志の会主催の虐待禁止条例改定案について、パネラーとしてお招きいただきました。

活発な意見交換もあり、今後につながる内容でした。

ご参加のみなさん、議員有志の会のみなさん、ありがとうございました。



ところざわまつり

山車のひきまわし、お囃子など賑やかにおこなわれました。

子ども連れも大勢参加、こちらでも自民提案の虐待禁止条例案の事が話題に。



JCPサポーターまつり

JCP サポーターまつりの埼玉ブースでは伊藤岳参議院議員、梅村さえこ元衆議院議員がトークを行いました。私も参加させていただき、9月定例会の虐待禁止条例問題について報告させていただきました。